

山形県病院薬剤師会研修会

謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
このたび、下記の様「山形県病院薬剤師会研修会」を開催させていただくこととなりました。
ご多忙中のこととは存じますが、何卒ご出席賜われますようご案内申し上げます。

謹白

-Program-

13:45～14:00

情報提供

抗精神病剤『ロナセン』最近の話題

大日本住友製薬株式会社

14:00～15:15

特別講演

座長： 千歳篠田病院 薬剤部長 小林 厚子 先生

『向精神薬を安全に使うために知っておきたいこと』 ～統合失調症の薬を整理する～

東邦大学薬学部 医療薬学教育センター

臨床薬学研究室 教授 吉尾 隆 先生

2014年

6/14(土) 13:45～15:15

山交ビル7階 小ホール

山形市香澄町3丁目2-1

Tel.023-632-1324 (代表)

当日は、ご参加頂いた確認のため、ご施設名、ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。尚、ご記帳いただいたご施設名、ご芳名は医学・薬学に関する情報提供のため利用させて頂くことがございます。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

参加費500円

当日は軽食を用意してございます。

*本研修会は、精神科薬物療法認定薬剤師認定申請対象講習会0.5単位を申請中です。

・講習会終了時、研修成果報告書の提出と引き換えに講習会受講証をお渡しいたします。

・尚、認定単位の取得条件から、遅刻並びに途中退場の場合は単位が付与されないためご了承ください。

*本研修会は、山形県病院薬剤師会生涯研修0.5単位を申請中です。

*本研修会は、日本薬剤師研修センター認定研修 1.0単位を申請中です。

共催 山形県病院薬剤師会 大日本住友製薬株式会社

向精神薬を安全に使うために知っておきたいこと ～統合失調症の薬を整理する～

東邦大学薬学部医療薬学教育センター
臨床薬学研究室 教授 吉尾 隆 先生

国内における統合失調症患者の薬物治療の問題点として、抗精神病薬の多剤併用大量処方、抗パーキンソン病薬の高い併用率、抗不安薬・睡眠薬の高い併用率が挙げられる。海外における薬物治療と比較して、1日当たりの向精神薬の使用剤数が多く、クロルプロマジンに換算した抗精神病薬の投与量も大量である。抗精神病薬の大量処方では、心血管系副作用や誤嚥性肺炎のリスクの増加などにより死亡率の相対的増加が問題となる。本公演では、これらのリスクを回避し、より安全で効果的な薬物治療を行うための方路について解説する。

山交ビル JR山形駅より徒歩5分

お車でお越しの際は、**第2駐車場**をご利用ください。
7階フロントにて無料の手続きをさせていただきます。

